



座光寺風景

若連中をよろしく申し上げます



越後獅子を演じられるお2人

座光寺地区の皆様におかれましては日頃より壮年団・麻績神社若連中の活動にご理解・ご支援いただき誠にありがとうございます。

座光寺に春を伝える麻績神社春祭りの季節がやってきました。今年度は4月5日(土)宵祭り、6日(日)本日の日程にて執り行われることとなりました。

麻績神社獅子舞の特徴でもある獅子曳き、梅王・松王・桜丸を演じますのは、棚田陽羽君(中原地区)、鈴木敢太君(唐沢地区)、松村幸祐君(上野地区)、暴れ舞う獅子を勇敢に導きます。

また笛クラブのお囃子に合わせ優雅な舞を演じてくれる越

未来へ受け継ぐ春祭り

麻績神社若連中代表 田中 守

後獅子は、西村胡春さん(宮崎地区)、西尾唯花さん(大堤地区)のお2人が務めます。

他にも、獅子曳きを守る赤天狗と烏天狗。越後獅子の囃子屋台の周りでは、おかめ・ひよっとこ・げじげじの個性豊かな役者たちも、お祭りをさらに盛り上げてくれます。

本年度も春祭りの通常開催を予定しております。多くの皆様に足を運んでいただければと思います。

伝統ある麻績神社春祭りを未来へと繋いでいけるよう若連中一同頑張っております。



楽しく笛を練習している子どもたち

自治会活動報告

自治会長 牧野 光彰

令和6年度は、「第2次座光寺基本構想・基本計画」の目指すまちづくりの将来像「あなたもわたしも暮らしやすい、自然・文化・ものづくりが煌めく新舞台『麻績の里座光寺』」の実現に向けて、6つのまちづくりを基本方針に、後期計画各事業を、各委員会と連携し実践してまいりました。

着工箇所を早期完了に向けて、関係機関に働きかけてまいります。

昨年度末JRより、静岡工区のトンネル工事の着工が遅れ、リニア中央新幹線の開業が2027年から、2034年以降と10年以上先へと延び、地域内の工事についても、長野県駅（仮称）と保守基地や座光寺高架橋工事の完成が2031年12月になるとの説明がありました。地域内の本線以外の関連工事については、当初計画通りの完成を関係機関へ要望しました。

恒川官衙遺跡公園整備については、2024年9月に、展示場・学習室を備えたガイダンス施設の建築が始まり、4月には完成。展示方法については、専門委員会、運営管理については、教育委員会と協議を進めてまいります。

コロナ禍で途絶えていた渋谷区との緑の輪交流事業も、10月に渋谷区より、長谷部区長や原宿商店会の皆さんをお迎えして、りんご狩りや焼き肉などで交流を再開、今後も継続して交流を進めていくことを確認。また、奈良市との交流事業では、8月の人形劇フェスタに合わせ奈良市の子どもたちが、座光寺を訪れ、パノラマファームでのりんご狩りや、人形劇の鑑賞、子ども桜ガイドの皆さんなどとの交流を楽しみました。今後は、座光寺の子どもたちが、奈良市を訪ねる交流事業を進めていきたいと考えております。

2000年浪漫の郷委員会の活動として、5月と7月に飯田市観光公社と連携し、SDGsプログラムにより、大阪枚方市

令和6年度は、「第2次座光寺基本構想・基本計画」の目指すまちづくりの将来像「あなたもわたしも暮らしやすい、自然・文化・ものづくりが煌めく新舞台『麻績の里座光寺』」の実現に向けて、6つのまちづくりを基本方針に、後期計画各事業を、各委員会と連携し実践してまいりました。

2000年浪漫の郷委員会の活動として、5月と7月に飯田市観光公社と連携し、SDGsプログラムにより、大阪枚方市

月に供用開始となるとの説明がありましたが、今後未

と東京都町田市の中学校の修学旅行を、南本城や舞台校舎のガイド案内などで受け入れてまいりました。これからも、修学旅行をはじめ、沢山の方が訪れていただけるような活動を進めてまいりたいと思います。

今年度は、舞台校舎竣工の明治6年より150周年を迎え、麻績の里振興委員会の事業として、9月には創作劇の「さくらと舞台桜」が、11月には大鹿歌舞伎の公演が行われました。これからも国史跡の指定に向けての活用を、積極的に進めてまいります。

土地利用計画は、今年度より信州大学大学院ランドスケープ・プランニング研究室と連携し、元善光寺周辺エリアと大堤周辺エリアの、見直し案の検討を、各部会に分かれて進めてまいります。

残念ながら全市一斉の防災訓練は、台風の接近で中止となりましたが、座光寺防災計画に基づいた避難所の設置訓練や、防災備品の確認、計画的整備を行いました。

以上、今年実施した主な活動を挙げさせていただきますが、コロナ後の地域を元気にするために、各委員会と連携し、できる事業を進めてまいります。

令和6年度 活動報告

生活安全委員会
委員長 佐々木 敦

平素より、生活安全委員会の活動にご理解とご協力をいただき御礼申し上げます。

「安全で安心して暮らせる地域社会」を目指して活動をしました。飯田警察署生活安全課、上郷交番と連携しまして、通学路の防犯カメラの整備、交通安全啓発として人波作戦、交通量が多く速度超過が課題の万才線のパトロールの強化を課題として活動してきました。また、6月に稲荷坂で防犯灯の倒壊が発生。地区内の防犯灯の緊急点検を行い、20か所が倒壊の恐れあり。令和7年度予算で全て最寄りの電柱に移設することになりました。

春に地区内で、不審者による小学生への声掛けが2件発生。令和5年度、上郷・座光寺管内だけでも、46件の事件があり8日に1回のペースで犯罪が起きている計算になります。

リニア時代を迎えても、安心安全な地域を目指して、個人宅への防犯カメラ設置を推進して犯罪の起きない地域にしていくのが今後の委員会の活動ではないかと思っております。

令和6年度 活動報告

環境衛生委員会
委員長 三石 明

環境衛生委員会の主な事業として年間24回のリサイクルステーションの当番があり、座光寺独自の取り組みとしてアルミ缶の回収も行っています。昨今の埋め立てゴミの組成調査によれば、以前よりガラスビンの割合が増えているとのこと。ゴミの減量のためガラスビンのリサイクル促進が大事になってきています。

また、年2回のごみゼロ運動と支部長による月1回の不法投棄パトロールも実施しました。その他、水生生物学習会での環境美化学習会や文化祭でのごみ分別クイズなど啓発活動にも取り組みました。

また、ごみ集積所に分別されていないごみの投棄も時々あり、環境衛生委員として大変気を病むこともあります。集積所へのごみの持ち込みは、必ずルールを守ってほしいと思います。

最後に1年間ご尽力いただいた役員の皆様へ感謝申し上げます。また地域の皆様には事業にご協力賜りましたことに感謝申し上げます。

令和6年度 活動報告

健康福祉委員会

委員長 原田 美保子

「日常的な見守り・支えあい活動の充実に努める」「婚活・移送サービスを支援する」「健康寿命を延ばす取り組みを進める」「通いの場を支援する」を目標に活動しました。

支えあいマップの作成、敬老祝賀会開催、小学児童とおやす作り、ファミリー教室、ふれあいサロンやいきいき広場の支援、一人暮らしの高齢者への声掛け訪問とゴミ出し支援等行いました。

他地域では敬老祝賀会など縮小傾向と聞きますが、座光寺では継続の声も多く継続が望まれます。

今年度から始まった通いの場（しだれざくら）の会は、参加者12名サポーター9名でスタートしました。参加者からは、定期的に出かけて体を動かすことで体調がよくなったとの感想がありました。サポーター方も運営に慣れスムーズな活動になっていきます。

今後子どもから高齢者まで暮らしやすい地域を目指して健康福祉委員会として取り組んでいけたらと思います。ご協力ありがとうございました。

学習と交流で地域をつなぐ

公民館委員会

公民館長 片桐 善昭

地域の変革期、学習とコミュニティが停滞しないよう各種団体と連携し取り組みました。

今年も運動会を半日開催とし、中学生企画、幅広い参加競技により、応援にも熱が入っていました。また、交流月間は自治会の補助も加算され取り組み地区が増加しました。

育成事業では、地域に愛着を持てるよう体験学習を中心に企画し、水辺の広場での水生生物観察会、パノラマファームのアサギマダラ観察、りんご狩りは好評でした。

人形劇まつりでは、今年も4年生「劇団フレンズ」の演劇の構成・演技に感動しました。文化祭は、例年より1週間遅い開催でインフルエンザに影響されず、小中学生高校生の音楽・書道パフォーマンスなど各種団体の活動報告の場となりました。

また「地域づくりフォーラム」では、リニア開通後を見据えた土地利用への提案に対し、期待や課題等を共有しました。

「広報座光寺」を6回発行し、「お知らせ版」等により地域記録と情報発信を行いました。「座光寺の子どもを語る会」では、ふるさと学習の地域への

思いや発表・対話力に感銘を受け、感想等意見交換をしました。皆様ご協力いただきありがとうございました。

公民館活動は地域の支え

第62回飯田市公民館大会

「幸せ」のバトンをつなぐ私たち。愉しく、つながり、拡がる。をテーマに掲げた第62回飯田市公民館大会が、2月16日(日)県公民館にて開催された。

来賓祝辞として登壇した佐藤市長は「今までの勤務経験で、長野県のように日常的に『公民館』が出てくるところはなかった。飯田市の公民館は戦後の公民館の思想を今でも受け継いでいる」と話し、地域の活力を生み出し、自治を支えるのが公民館の役割であることを伝えた。今の公民館活動は踏ん張りどころと感じており、コロナ前と比べると盛んに活動している地区、できていない地区があるが、ここで踏ん張っておくことが今後の地方自治の元氣・活力に大きく関わりと続けた。また、能登半島地震を例に出し、復旧がスムーズに進んだ地域は人々が自分たちで乗り切る力を持っていたと話し、公民館活動は将来の災害の備えにも繋がるため、活発な公民館活動がこれからの飯田市の活力のある自治を支えていくものになると結んだ。



パネルディスカッションの様子

壇上では東京大学大学院教授の牧野篤氏をファシリテーターに迎え「幸せのバトンをつなぐ」をテーマにパネルディス

舞台桜2世 渋谷へ

2月18日(火)自治会長を含めた8名の自治会メンバーが渋谷区の鍋島松濤公園にて植樹を行った。植えられたのは、挿し木で作られた舞台桜2世で、高さ2・5m程度まで成長した苗木1株である。

この植樹は、昨年の10月、久しぶりの渋谷区との交流として、渋谷区の長谷部区長がパノラマファーム大門に訪れた際に決まったようだ。牧野自治会長は、「渋谷区との交流をコロナ禍の前よりも活発に発展させたいという思いで実施した。渋谷区の皆さんが植樹された舞台桜

カッションが行われた。飯田市各地の幅広い年代から選出された6名の登壇者は、牧野氏の軽快な話術のもと、次々と体験談や思いを発言した。公民館のあり方や、活動を継続していくためにはどうしたらよいかなどについて語り合った。

その後、5つの分科会に分かれて意見交換を行った。参加者はパネルディスカッションで感じたことや、各分科会ごとに設定されたテーマについて語り合った。他地区の方々と意見を交換することで座光寺の良い所や課題を再確認することができた。

2世を見て、座光寺の元祖舞台桜を見に行きたいと思ってもらえるきっかけになれば」と語った。公の行事として舞台桜2世が座光寺地区外に植樹されたのは初めてのこと。



令和
6年度

座光寺地域文化祭



2月8日(土)・9日(日) 広げよう座光寺の輪 ～誰もが主役～



高陵中学校吹奏楽部の演奏



屋台の賑わい



飯田女子高校吹奏楽部の演奏



飯田女子高校邦楽クラブの演奏



飯田女子高校ギターマンドリンクラブの演奏



飯田市美術博物館 松村武先生の講演
(演題：座光寺の大地とその成り立ち)



わっはっは笑う健康教室



種まき大賞
おめでとうございます



お楽しみ抽選会

芸能発表会 2月9日



文化祭を終えて 文化部長 宮澤 賢二

当日ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。また、参加団体並びに実行委員会、協力団体の皆様におかれましては、準備から当日まで大変お疲れ様でした。

今年は例年より多くの団体に展示・講演の参加をいただきました。昨年は参加できなかった学校の文化系団体をはじめ、今回初登場の地域戦隊カッセイカマン、下伊那農業高校のお二人には司会進行を担っていただき、文化祭に花を添えていただきました。充実した楽しい文化祭を行うことができ感謝に堪えません。

来年は更に多くの若者が携われるような楽しい文化祭を目指して内容を検討していきたいと思っております。来年もぜひご来場いただき、文化祭をお楽しみください。

麻績の里 種まき犬賞

2月9日(日)の文化祭にて「麻績の里種まき犬賞」授賞式が行われました。この賞は、地域の中で温かな心の種をまいた個人や団体、地域のことを思つて活動している個人や団体などを「麻績の里にまかれた地域づくりの種」として紹介し、讃え励ます賞です。今回は座光寺地区農協青年部果樹班様を受賞されました。



代表の今村淳志さん

座光寺地区 農協青年部 果樹班様

座光寺小学校5年生が取り組む「田んぼでのお米作り」において、代かきから田植え、稲刈り、はざかけ、脱穀と一連の農作業を支援して子どもたちへの指導に取り組みられています。この活動を継続して座光寺の子どもたちに郷土を思う心を育み続けることを願っています。

元善光寺周辺と 大堤周辺を事例に 未来の座光寺を考える 地域づくりフォーラム

2月8日(土)の文化祭にて、公民館運営委員会主催、自治会土地利用計画運営委員会共催の「地域づくりフォーラム」が開催されました。信州大学ランドスケープ・プランニング共同研究講座と共に構想中の2つの案を発表し、参加者は各グループで意見交換を行いました。

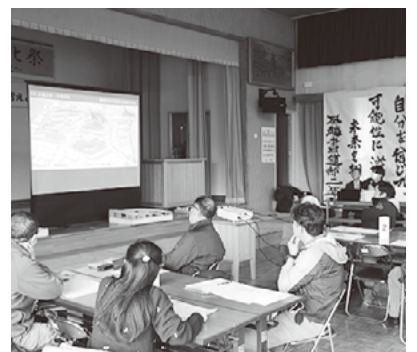
1、元善光寺周辺の歴史を活かした空間再編案 元善光寺エリアがにぎわいを取り戻して再び飯田の顔となれるかが持続可能な町への鍵。成功事例の出雲大社神門通りと、元善光寺周辺を比較。歩道を広くすることで歩行者を増やし商店街の復活を提案。
2、大堤周辺の水資源を活かしたまちづくり案 大堤団地の改修案に加え、市の提言する研究開発型企業誘致も視野に入れた空間モデルを提案。地形を丁寧に読み解き、ため池と眺望を活かすことで魅力的で誇れる拠点整備を目指す。民営民設の住宅団地を整備し、市が公営住宅として借り上げることを提案。

地域づくりフォーラムを 開催しました

運営委員会 原田 聡昭

リニア時代の座光寺に焦点を当て、未来の座光寺に人が来てもらえるためにはどうしていけばよいかを考えることを目的に地域づくりフォーラムを開催しました。座光寺土地利用計画、信州大学ランドスケープ・プランニング研究室の研究結果、南信州観光公社から情報提供を受けたのち、参加者が9班に分かれてグループワークを行い、未来の座光寺について意見交換を行いました。

話し合いの中では、「座光寺を変えていこうという気持ちを持つことが大切」「田舎の良さを生かせる」と良いといった意見も出されました。今回は、30代から40代の若い方に大勢参加いただいたことも大変ありがたいことでした。私が子供の頃は元善光寺から駅までの間に商店がたくさんあり、大変な賑わいでした。元善光寺を中心とした観光資源を生かして、賑やかな座光寺を取り戻し、地元の方にも全国の方にも「座光寺はよい所だ」と思える街づくりができればと思いました。



リニア開通後の土地利用計画

土地利用計画運営委員会
委員長 長沼 豊

今年度行っている見直しを、知っていたただく良い機会になりました。この見直しは、エス・バードにある信州大学のランドスケープ研究室の協力を得て行っています。

今回の発表は、土地利用計画12の重点地区の中から今後大きな変化が考えられる2地区を取り上げ、歴史・地形・地質等いろいろな角度から研究検討を行い、最終的なデザイン提案にまとめ、ランドスケープ研究室の学生さんに発表していただきました。今後は関係地区に説明会を開催し、市との調整を行ってリニア開通後に向けた土地利用計画していきたいと思っています。

「小学生下校見守り」 活動を続けています!!

民生児童委員協議会
会長 大村 信夫

座光寺では、民生児童委員8名と主任児童委員1名が活動しています。「定例会」を毎月一度開きます。お互いに励まし合つて、地域住民を支えるネットワークを作っています。

活動の多くの部分は、高齢者の見守り、訪問です。生活上の心配ごと、困りごとなどを受けた場合は、専門的な関係機関などと連絡をとりつつ「つなぎ役」になります。

令和4年から「小学生下校見守り」を始めました。前会長さんの提唱で、「地域の子どもへの関わりも少しずつ増やしていこう」ということでした。

月1回の取り組みで十分ではありませんが、子どもたちと元氣にあいさつを交わしていると、私たち自身も明るい気分になってきます。今後も、「地域住民の立場にたった、地域の福祉を担うボランティア」として頑張っていきたいと思います。

青少年が健やかに育つ座光寺をめざして 健全育成部の活動報告

飛行機と空飛ぶ車の謎

in エス・バード

昨年の12月14日(土)にエス・バードにて開催され、9組の家族が参加しました。飛行機の原理を学び、モデル飛行機を作って飛ばしたり、ドローンの操縦を体験しました。「作った飛行機がうまく飛んで楽しかった」という感想が聞かれました。



新春書初め会

1月4日(土)公民館大会議室で開催されました。今回は、書初め会史上最多の25名の小学生の参加がありました。指導者は、前公民館長の塩沢さん。大会議室めいっばいに広げられたブルーシートの上で丁寧にアドバイスしてもらいながら真剣に筆を走らせていました。見守っていた保護

者は「家だと広いスペースがないので公民館の広いスペースで広々と書くことができました」と話してくれました。



麻績の里まとめの会

今年度の麻績の里体験学校に参加した皆さんと活動を振り返ることを目的として、1月18日(土)に開催されました。参加した5組の親子はスライドショーで1年を振り返りました。その後、行事ごとの思い出を模造紙に記し、写真やイラストなどで飾り付けを行いました。作業終了後には、ご褒美としてカップケーキにデコレーションをしました。みんなで食べました。完成した思い出まとめ作品は、文化祭で展示しました。



老若男女楽しめる ニユースポーツ体験会

体育部主催によるニユースポーツ体験会が3月2日(日)に、座光寺小学校体育館で開催されました。今回の体験種目は、ボッチャとモルックでした。30名の参加者は、8チームに分かれて競技説明を受けました。モルックは初体験の方が多かったため、ルールの説明に熱心に耳を傾けていました。

篠田体育部長は「最近の飯田市はモルックを推しているようです。子どもから高齢者まで幅広い皆さんに楽しんでいただけたと思います」と話しました。片桐公民館長は「軽スポーツだと思っていたが、やってみると熱くなるほどの運動量があり、楽しくプレーできました」と感想を語ってくれました。



全国高校サッカー 選手権大会に 市場通り地区の 牧野長太朗くんが出場!

市場通り地区の牧野長太朗くん(上田西高校3年)が、全国高校サッカー選手権大会に出場しました。

牧野くんは高陵中を卒業後、サッカーに打ち込むため上田西高校に進学し、チームの守護神としてゴールを守り続けました。

大会では、2回戦で徳島代表の徳島市立高校を下すと、3回戦では、2年連続14回の出場を誇る強豪・栃木の矢板中央高校と対戦。試合開始直後に上田西のファウルで、相手にPKのチャンスを与えてしまいました。しかし、牧野くんのスーパーセーブで失点を防ぐと、チームは一気に流れをつかみ、2-0で勝利。見事ベスト8進出を果たしました。準々決勝では、来年度リーグ入団が内定している選手を擁する強豪・千葉の流通経済大柏高校と対戦。惜しくも敗れてしまいましたが、果敢にゴールを守る牧野くんの姿は、座光寺の皆さんに大きな勇気と感動を与えてくれました。



☆牧野長太朗くんから

座光寺の皆さん、応援ありがとうございました。

小学生の頃から憧れていた全国高校サッカー選手権大会に出場することができました。高校サッカー3年間の集大成をこの大きな舞台で発揮し、全国約3,800校の中でベスト8に入ることができました。は、大きな誇りです。しかし、あと一勝すれば国立競技場でプレーできたと思うと、悔しさも残ります。

今後は大学に進学し、サッカーと真剣に向き合っていきたいと考えています。

最後に、サッカー少年たちへ。寝る時も、ご飯を食べる時も、常にサッカーボールを触ってください。ボールは友達です!そして、何より大事なものは、サッカーを楽しむこと!プレーを楽しみながら、成長してってください!

座光寺を南東より俯瞰する

日々の生活に追われていると、自分が見えなくなることがある。ときには少し離れて自分を見つめることも大事なのではないだろうか。見つめる視点さまざま。家族・友人・日課・体験・将来・旅…。地域を見つめるのも産業・文化・自然…と多様。ここでは景観に視点を充ててみた。景観の中には地形・植生・農業・交通…が隠れている。

伊那谷

中川村陣馬形山に登った人は多いのではないだろうか。中央アルプスと天竜川。その間の田切地形は壮大なもので圧倒される。私たちはこんなところに住んでいるんだ!? と思い知らされる。…でも座光寺は? よく見えない。

てっぺん公園

座光寺がよく見える場所を探した。場所によって強

調されるのは断層崖・天竜川・大門原…とさまざま。比較的全体がよく見えたところは豊丘村のてっぺん公園(写真)。座光寺から見ると伊那山脈の中ほどにぶちっと出っ張った山だ。上から見ると座光寺の里地は上段と下段。その間の段丘崖、これは緑の回廊、里山の動植物・小鳥や小動物の棲み家だ。

行ってみよう

竜東の山麓を龍江(豊丘)まで走る伊那南部広域農道を豊丘村に入るとてっぺん公園の案内が出てくる。いくつかの分かれ道も丁寧な案内、頂上横に駐車場・トイレも完備。雨上がりなど見通しの良い日を選んでぜひ。

できたら双眼鏡を持って行きたいですね。庭にいる貴方が見えるかも…。はともかく、新しい視点の中に「自分の景色」を見つめることができたらと思います。

(伊那谷自然友の会 小林正明)



座光寺は土曾川(十桁ガ洞)・天竜川・南大島川・座光寺富士右奥に囲まれた範囲。座光寺富士は1270m。その北西(富士の右上)1298mが最高地、最低は天竜川400m。(2024・12・24撮影)

編集後記

この原稿は、広報座光寺史上初めて生成AIを使用して作成しました。

私は最近、生成AIを使い始めました。文章作成はもちろん、イラストや数学の問題解決もでき、その精度に驚かされています。AIの進化により、誰もが簡単に知識を広げられる時代が到来しています。

では、人間はどうあるべきでしょうか? 私は、これからは「体験すること」がますます重要になると感じています。実際に手を動かし、五感で感じることはコンピューターにはできません。AIの活用が進むほど、人間は体験に時間を割くべきではないでしょうか。

公民館の活動は、まさに「体験する」場のひとつでしょう。音楽、スポーツ、伝統文化など、実際にやるからこそ得られる学びがあります。AI時代だからこそ、公民館での体験がより価値を持つのではないのでしょうか。

(広報部 篠田)

